

コード	3101	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道施設課
-----	------	-----	----------	------	---------	----	-------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	民間委託の徹底などによる吉見浄水場の簡素で効率的な管理運営	行動目標	民間委託の業務範囲の拡大を図るなど、先進的かつ簡素で効率的な管理運営体制を構築する。
------	-------------------------------	------	--

(行動計画)	14	15	16	17	18
	吉見浄水場管理運営の検討 ・民間委託業務内容及び管理体制検討			・業務運営マニュアルの策定	[吉見浄水場開場] 民間委託の実施 ・運転管理業務全面委託(技術関係及び水質関係の一部)

改革指標・目標数値		改 革 効 果			
民間委託拡大による 年間経費縮減額(直営方式との比較)	目 標	H17~18年度	60百万円以上	30百万円以上/年 (H17~18 60百万円以上)	
	実 績	H14年度末	-		
		H15年度末	-		
		H16年度末			
		H17年度末			
		H18年度末			

コード	3102	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道施設課 水道建設課 設備担当
-----	------	-----	----------	------	---------	----	---------------------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	既設浄水場の効率的な管理運営		行動目標	民間委託の拡大等による業務の効率化を徹底し、浄水場の管理運営経費の縮減を図る。			
	14	15	16	17	18		
(行動計画) 1 庄和浄水場及び新三郷浄水場については、管理室業務を委託する方向で検討するとともに、水質管理業務の一部を委託する。 2 電力消費や薬品注入量の適正化を進めるとともに、設計積算要領に定める歩掛かりの見直しを行う。 3 上記1・2を踏まえ既設浄水場の運用管理に係る効率化計画を策定し、総合的に業務の効率化を進める。	既設浄水場運用管理に係る効率化計画策定 (効率的な水質検査体制確立計画策定)	効率化計画の段階的实施					
		(薬品管理の委託化と水質検査業務の一部委託化) 庄和浄水場対象	(薬品管理の委託化と水質検査業務の一部委託化) 新三郷浄水場対象		・効率的な水質検査体制確立		運転管理業務の委託化検討 (庄和・新三郷)
	送水圧力調整(適正化)マニュアル策定	送水管路の圧力調整					
	設計、積算歩掛かりの見直し	(随時実施)					
改革指標・目標数値		改革効果					
既設浄水場 維持管理費 / m ³	目標	H14~18年度	1,475百万円	管理運営費 492百万円 (H14~18 1,475百万円)			
H18 5%削減 (H13:14.49円/m ³ H18:13.76円/m ³) 〔各年度削減目標〕	実績	H14年度末	648百万円				
H14(1%)・H15(2%)・H16(3%)・H17(4%) 水質管理センターを含む		H15年度末	1,183百万円				
		H16年度末					
		H17年度末					
		H18年度末					

コード	3103	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道計画課 施設計画・高度処理担当 水道建設課 設備担当 水道建設課 工務第一担当
-----	------	-----	----------	------	---------	----	---

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	経営状況に見合った施設の建設・設備改良	行動目標	各事業の緊急性と必要性の度合いに応じた事業進捗の調整を図るとともに、事業実施に当たっては一層のコスト縮減に努める。				
(行動計画)	<p>1 吉見浄水場二期工事と行田浄水場10万トン施設の建設工事について、本計画期間中は着手しない。</p> <p>2 新三郷浄水場への高度浄水処理の導入に当たっては、水質状況、経済性、効率性等を十分検討し、推進する。</p> <p>3 大久保、庄和浄水場水処理施設の耐震補強工事は、震災時に直接給水の用に該当する施設(浄水池、送水調整池)を優先して実施する。</p> <p>4 経済的・効果的な投資と費用の平準化に配慮し、「新施設整備計画」及び「第5次業務設備整備計画」を策定する。</p> <p>5 「公共工事コスト縮減対策に関する埼玉県新行動計画」に基づき、建設改良工事のコスト縮減を一層促進する。</p>	14	15	16	17	18	
		<施設建設> 行田10万t、吉見期等の先送り					
		現行水道施設整備継続費の見直し等について検討	[新施設整備計画] 継続費(H16~)等の設定 事業変更認可 (高度浄水処理含む) ():高度浄水処理	新施設整備計画を実施	(基本設計)	(実施設計)	(着工)
		<設備改良> 大規模施設改良工事の見直し					
		第5次業務設備整備計画策定検討 建設・設備改良工事のコスト縮減	第5次業務設備整備計画策定	第5次業務設備整備計画実施			

改革指標・目標数値				改革効果			
施設建設 進捗調整(H19以降先送り・見直し) 69,700百万円	目標	H14~18年度	69,700百万円	事業費用の平準化 経営への影響軽減化			
	実績	H14年度末	-				
		H15年度末	-				
		H16年度末					
		H17年度末					
H18年度末							
施設建設 コスト縮減率(計画金額比) 5%削減	目標	H14~18年度	3,370百万円	H14~18 3,370百万円			
	実績	H14年度末	451百万円				
		H15年度末	1,143百万円				
		H16年度末					
		H17年度末					
H18年度末							
設備改良 進捗調整(H19以降先送り・見直し) 2,000百万円	目標	H14~18年度	2,000百万円	事業費用の平準化 経営への影響軽減化			
	実績	H14年度末	-				
		H15年度末	-				
		H16年度末					
		H17年度末					
H18年度末							
設備改良 コスト縮減率(計画金額比) 10%削減	目標	H14~18年度	2,388百万円	H14~18 2,388百万円			
	実績	H14年度末	523百万円				
		H15年度末	1,137百万円				
		H16年度末					
		H17年度末					
H18年度末							

コード	3104	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道計画課 PFI推進担当
-----	------	-----	----------	------	---------	----	---------------

現 計 画 (平成16年3月修正)

改革事項	PFI手法による施設の建設・改良			行動目標	PFI手法の導入を可能な限り推進する。			
(行動計画)	1 大久保浄水場排水処理施設更新事業について、平成14年にPFI手法を導入するか選択する。 2 PFI手法の導入を選択した場合は、平成15年度にPFI事業者を募集し、平成16年度から事業を実施する。			14	15	16	17	18
				PFI導入検討、可否決定 (事業範囲特定、VFM確認) <導入可の場合> ・実施方針案作成	・実施方針策定及び公表 ・特定事業の評価・選定・公表 ・民間事業者の募集	・事業者の選定 ・契約交渉 ・協定等の締結	PFI事業の実施 ・工程管理 ・要求水準確保の確認	

改革指標・目標数値		改 革 効 果				
可能な限り高いVFM 12%	目標	H16～年度	約50億円	建設コスト及び管理運営費の縮減(平成16年度～39年度)費用の平準化		
	実績	H14年度末	-			
		H15年度末	-			
		H16年度末				
		H17年度末				
		H18年度末				

コード	3105	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道施設課 水質担当
-----	------	-----	----------	------	---------	----	------------

現 計 画 (平成16年3月修正)

改革事項	浄水発生土の減量化と販売促進			行動目標	浄水発生土の減量化と販売を促進し、処分費を削減する。		
(行動計画) 新三郷、庄和の各浄水場と平成17年度稼働する吉見浄水場に乾燥ストックヤードを順次建設し、発生土の減量化を図るとともに販売の促進に努める。	14	15	16	17	18		
		浄水発生土の有効活用の検討 ・乾燥ストックヤード建設(新三郷)	浄水発生土減量化 ・乾燥ストックヤードの建設(庄和)	・乾燥ストックヤードの建設(吉見)			
改革指標・目標数値		改 革 効 果					
浄水発生土の販売増加率 (対15年度基準値) 庄和、新三郷浄水場 H18 15% (16年 5% 17年 10% 18年 15%) 吉見浄水場 全量	目 標	H16~18年度	8,400t	80百万円	庄和、新三郷浄水場年間売却増加量 H18 700t/年 処分費 6.7百万円/年 (H16~18 処分費 13百万円)		
	実 績	H 14 年度末	-	-	吉見浄水場 H18 4,000t/年 処分費 38百万円/年 (H17~18 処分費 67百万円)		
		H 15 年度末	-	-			
		H 16 年度末					
		H 17 年度末					
H 18 年度末							
乾燥ストックヤード建設による発生土減量化率(新三郷+庄和+吉見) 10%	目 標	H16~18年度	4,510t	43百万円	H18 1,870t/年 処分費 18百万円/年 (H16~18 処分費 43百万円)		
	実 績	H 14 年度末	-	-			
		H 15 年度末	-	-			
		H 16 年度末					
		H 17 年度末					
H 18 年度末							

コード	3106	事業名	水道用水供給事業	重点目標	経営基盤の強化	担当	水道業務課 総務担当
-----	------	-----	----------	------	---------	----	------------

新規計画 (平成17年3月策定)

改革事項	計画的な人材開発と職員の育成	行動目標					
		14	15	16	17	18	
(行動計画)	<p>『水道職員人材開発計画』に基づき人材開発を実施し、職員自らの意識改革と能力開発を促すとともに、組織体質の強化をめざす。</p> <p>1 人材開発委員会による計画推進 年度当初、基本計画を策定するとともに、研修全般に関する審議を随時行う。</p> <p>2 水道部研修の推進 『水道職員人材開発計画』における研修体系の具体化を図り、適宜研修を実施する。また、平成16年度作成された研修テキストの充実を図る。</p> <p>3 職場研修の推進 人材開発委員会による基本計画に基づき所属別実施計画を策定し、所属による研修を実施する。</p>			人材開発委員会設置 ・基本計画作成 ・決定（毎年度） ・審議（随時）			
				水道部研修 ・履修プログラムの検討作成 ・個別研修計画の作成 ・研修テキストの作成・改善 ・研修（試行）（実施） 職場研修 ・実施計画の策定（毎年度） ・研修の実施（毎年度） ・中間・最終報告（毎年度）			

改革指標・目標数値		改革効果			
組織的な人材開発への取組みを実施する。 ・アンケート結果において、研修効果を認めた職員の割合80%	目標	H ~ 年度	-	職員の能力向上	
	実績	H 14 年度末	-		
		H 15 年度末	-		
		H 16 年度末			
		H 17 年度末			
	H 18 年度末				

コード	3301	事業名	水道用水供給事業	重点目標	環境面への積極的な取組	担当	水道施設課
-----	------	-----	----------	------	-------------	----	-------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	環境マネジメントシステムの構築	行動目標	新三郷浄水場のISO14001取得・運用と、他浄水場のISO14001に準じた環境マネジメントシステムの構築により、環境を一層重視した活動に努める。				
------	-----------------	------	--	--	--	--	--

(行動計画)	14	15	16	17	18
	ISO14001取得準備(新三郷)	ISO14001取得	ISO14001運用 ・他浄水場への普及促進		
1 環境対策を積極的に推進していくため、新三郷浄水場のISO14001環境マネジメントシステムの適正な運用に努める。また、モデルサイトとしての体制の強化を図るため、内部監査員の養成に努め、内部監査の実施体制を確立するとともに、他浄水場への支援体制を整備する。 2 認証取得を受けた新三郷浄水場をモデルサイトとして他浄水場への普及を図り、各浄水場のISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、環境改善活動を推進する。					

改革指標・目標数値	改 革 効 果				
ISO14001の認証取得 (新三郷浄水場) H15 他場への普及と運用 H16~	目 標	H ~ 年度	-	環境に配慮した運営体制の構築 可能な限りの環境負荷の低減	
	実 績	H 14 年度末	-		
		H 15 年度末	ISO14001認証取得		
		H 16 年度末			
		H 17 年度末			
		H 18 年度末			

コード	3302	事業名	水道用水供給事業	重点目標	環境面への積極的な取組	担当	水道施設課 設備担当 水質担当
-----	------	-----	----------	------	-------------	----	--------------------

修正計画 (平成17年3月修正)

改革事項	省エネルギー対策の推進	行動目標	環境負荷の少ない新エネルギーの活用や各種省エネルギー対策を 実行し、可能な限り温室効果ガスCO ₂ の排出を削減する。						
		14	15	16	17	18			
(行動計画) 1 「埼玉県地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスとしての二酸化炭素の排出削減を図るため送水圧力調整をはじめ各種の省エネ対策を積極的に推進する。 2 太陽光エネルギーや既存施設の工夫活用による環境負荷の少ないエネルギーを設備投資額とも配慮の上、積極的に活用していく。 3 新三郷、庄和の各浄水場に建設した乾燥ストックヤードにより浄水発生土の減量化を図り、発生土運搬車両に係る二酸化炭素排出量を削減する。			省エネ推進計画作成	実施					
			機器駆動減速方法変更による省電力化						
			送水管路の圧力調整による省電力化						
			太陽光発電・インライン発電施設設置、運用(庄和)						
			運搬車両のCO ₂ 排出量削減 ・乾燥ストックヤード建設(新三郷)		・乾燥ストックヤード建設(庄和)				
改革指標・目標数値		改 革 効 果							
省電力量 H18 878 kw/h 浄水発生土の減量化率 10% (乾燥ストックヤード建設による)	目標	H18年度	2,953 t-CO ₂	CO ₂ 削減量 2,953 t-CO ₂ / 年 (ドラム缶 5,583本(軽油換算))					
	実績	H14年度末	95 t-CO ₂						
		H15年度末	742 t-CO ₂						
		H16年度末							
		H17年度末							
	H18年度末								

コード	3501	事業名	水道用水供給事業	重点目標	安心・安全への取組	担当	水道業務課 水道施設課 水道建設課	業務担当 施設担当 工務第一
-----	------	-----	----------	------	-----------	----	-------------------------	----------------------

新規計画 (平成17年3月策定)

改革事項	非常時における東京都水道局との水の相互融通			行動目標	地震・水質事故等の非常時に東京都水道局と水の相互融通を図り、危機管理体制を強化する。				
(行動計画)	14	15	16	17	18				
地震・水質事故等の非常時にも県民に対し、安全な水を安定的に給水するため、東京都水道局の送水管と県営水道の送水管を連絡管で接続し、日量10万m ³ の水の相互融通を行い、危機管理体制の強化を図る。		基本協定の締結 ・建設協定の調整・協議 建設協定の締結	・連絡管の調整協議、設計、工事 ・維持管理の調整・協議	→	・施設運用開始	→	維持管理協定の締結		
改革指標・目標数値	改 革 効 果								
地震・水質事故等の非常時にも、県民に対し安全な水を確保する。	目標	H ~ 年度	-	東京都水道局と県営水道間を連絡管で接続し、非常時に水の相互融通を行うことによる危機管理体制の強化が図れる。					
	実績	H 14 年度末	-						
		H 15 年度末	-						
		H 16 年度末							
		H 17 年度末							
	H 18 年度末								

コード	3502	事業名	水道用水供給事業	重点目標	安心・安全への取組	担当	水道施設課 水質担当
-----	------	-----	----------	------	-----------	----	------------

新規計画 (平成17年3月策定)

改革事項	品質マネジメントシステムの構築	行動目標	ISO9001の早期取得と運用により、品質保証体制を一層重視した品質マネジメントシステム構築に努める				
------	-----------------	------	--	--	--	--	--

(行動計画)	安全で安心な水道水の品質保証体制を一層強化していくため、水質管理センターをモデルサイトとして、平成17年度中に国際規格のISO9001の認証取得を図り、品質マネジメントシステムの構築を目指す。	14	15	16	17	18
				ISO9001取得準備 (水質管理センター)	ISO9001取得	ISO9001運用
				<ul style="list-style-type: none"> 委員会設置 支援業務委託 品質方針決定 手順書等作成 	<ul style="list-style-type: none"> 品質マニュアル作成 内部監査実施 認証取得申請 予備審査 登録審査 認証取得 	

改革指標・目標数値		改 革 効 果				
ISO9001の認証取得・運用～ (水質管理センター)	目標	H ~ 年度	-	品質保証体制の構築		
	実績	H 14 年度末	-			
		H 15 年度末	-			
		H 16 年度末				
		H 17 年度末				
H 18 年度末						
H 17						